

# あおぞら



## 医療理念

1. 医療の原点に立った心温まる医療  
【Humanism】
2. 高度医療の提供  
【High Level】
3. 職員一同連携し仕事を通じての  
人間的成長 【High Growth】

## 目次

年頭挨拶	2
ご挨拶	3
認知症ケアへの取り組み	3
連携病院のご紹介	4
第10回 地域連携の会アンケート結果	6
花のある暮らし	7
外来週間診療予定表	8

特定医療法人



# 年頭挨拶

理事長  
大坪 俊夫



あけましておめでとうございます。今年は令和最初のお正月です。新しい年号はすばらしい時代の始まりであってほしいと思います。去年は地球温暖化につながる異常気象のためか、大きな台風や豪雨の被害が全国的に広がった一年でした。洪水の被害を目の当たりにすると、昭和56年の長崎大水害を思い出します。水害の時は、当院では電気の復旧は早かったようですが、透析のための水が不足して、水をタンク車で運搬したそうです。その当時のことを知るスタッフはほとんどいなくなってしまいましたが、またいつ集中豪雨のため、水、電気がストップするとも限りません。今後も透析施設間の協力体制を整えるとともに、非常時に対し、常に備えをしていかなければならないと思っています。

去年はラグビーのワールドカップが行われ、ブレイブブロッサムズ(日本チームの愛称)の活躍に日本中が沸き立ちました。そこら中にラグビーのわかファンが多く誕生しました。決勝トーナメントをかけた試合を行ったスコットランドチームは長崎市でプレキャンプを開き、馴染み深くなったチームでした。決勝トーナメントをかけたスコットランドと日本の試合ではテレビの視聴率が50%以上を超えたそうです。結局日本が決勝トーナメント1回戦で敗れた南アフリカが優勝しました。ラグビーがあんなにみんなの心をつかんだのは、チームのために個人が体を張って、激しく体をぶつけあう激しさだけでなく、試合終了後のお互いのファイトをたたえ合う潔い態度がファンの心を

打ったためだと思います。医師の立場からは、骨折など体が壊れないかが心配ですが、勝利のために献身的に自分の仕事をやる抜く、“チームのために”という姿勢は見習うべきと感じました。病院も職員がそれぞれの責務を果し、多くの人の力を合わせて成り立つ仕事です。職員の気持ちを患者の治療のために一つに集中して、“one team”として患者さんに対して思いやりのある医療を提供したいと思っています。

今年には2020年東京五輪の年になります。ワールドカップラグビーの時以上の興奮が得られる可能性が高く、日本のアスリートの活躍を期待したいと思います。

これまで光晴会病院は地域の先生方や住民の皆さんのご支援で成長してきました。この地に開業して40年経ち、病院のスタッフは数も増え、大きく変わっています。しかし光晴会の医療理念は変わりません。病院の理念の“3H”を守って、これまで以上に高度な医療を提供し、職員ともに成長していきたいと思っています。今年も一年よろしくお祈りします。





# ご挨拶

看護副部長 兼  
外来師長  
岩田 潤子



令和元年9月1日付けで看護副部長兼外来師長の任命を受けました。岩田潤子と申します。昨今、2025年問題に加え、アドバンスケアプランニング（ACP）が推奨されています。当院におきましても、高齢で独居の方や高齢のご夫婦の方の受診が増えてきております。私たちは患者家族の立場

に立ち、生活と医療を繋ぐ役割を果たしていかなければならないと考えています。私自身まだまだ未熟ではありますが、諸先輩方のご指導を仰ぎながら与えられた役割が遂行できるように努力して参りたいと思います。

## 認知症ケアへの取り組み

当院における認知症ケアへの取り組みは、2012年より田川療養所理事長の田川雅浩医師の御協力を受け、薬剤師と、認知症看護認定看護師である私が中心となり、院内における認知症ケアラウンドを開始しました。2016年からは、認知症サポート医となられた腎臓内科医の柴田龍二郎医師と、精神保健福祉士・作業療法士も加わり、認知症ケア加算Iを算定しています。活動開始直後から、病棟看護師も認知症ケア専門士の資格取得や、認知症に関連する院外の研修会にも多く参加しており、認知症ケアの質向上に努めているところです。



そのような中、先日、長崎市岩屋地域包括支援センター主催『認知症サポーター養成講座』の当院開催をお声かけいただき、当院講堂にて開催いたしました。当院通院中または入院中の患者様・ご家族様向けに開催する講座としましては、初めての取り組みとなりました。令和元年11月1日14時より約1時間の予定で、『健康講座～認知症編～』と題し、開催に当たっては当院の認知症サポートチームも協力させていただきました。講座の導入では地域包括支援センターの方より、地域における認知症患者の実態や、認知症サポーター養成講座に関するお話がありました。私からは認知症のお話と、予防についても触れ、会場の皆さんと共に、『開閉体操』という予防体操を行い、最後は認知症サポートチームによるロールプレイを行いました。

在宅生活や地域の中で、起こりうる可能性のある認知症対応の方法を、認知症サポートチームの看護師3人が実演し、聴講者の意識に働きかけました。『悪い対応方法』として実演した際には、笑い声が上がったシーンや、『良い対応方法』として実演した際も、見入っている聴講者の様子がありました。3症例を2パターンずつ熱演し、聴講者から『わかりやすかった』『楽しかった』『何かあれば地域包括支援センターへ相談します』と感想をいただきました。初めての取り組みにて、告知方法などの検討課題は残りましたが、認知症サポートチームとしても、よい経験となりました。今後も、『地域に根差した病院』となるよう、講座などで情報を発信し、地域の皆さんとよりよい認知症ケアを展開していきたいと思っています。

（認知症看護認定看護師；福田康恵 記）



# たかの耳鼻咽喉科

はじめまして。令和元年9月4日に「たかの耳鼻咽喉科」を開院いたしました高野 篤と申します。光晴会病院の広報誌「あおぞら」の紙面をお借りして紹介させていただきます。

私は昭和46年に長崎市で生まれました。長大附属中、青雲高、長崎大学医学部を卒業し、平成9年に長崎大学耳鼻咽喉科に入局しました。わたしの実家は葉山で目の鼻の先です。中学1年生から、大学を卒業し研修医2年目の途中まで実家から通っておりました。少年期を育ち社会人になるまで過ごし慣れ親しんだ土地で開院できたことをたいへん喜んでおります。

長崎大学耳鼻咽喉科に入局後は、長崎大学病院のほか、長崎市内では長崎みなとメディカルセンター、重工記念長崎病院、佐世保市内では佐世保市立総合病院（現 佐世保市総合医療センター）、佐世保中央

病院、長崎労災病院などで研鑽を積んでまいりまして現在に至ります。

近年高齢化が進み、加齢に伴う聴力低下や耳鳴などでお困りの方も増えております。慢性中耳炎など手術で聴力改善を期待できる疾患や、補聴器を活用する必要のある加齢性難聴や騒音性難聴など様々な耳の病気がありますので、難聴や耳鳴などで、日常生活で困ることが増えてきた方はぜひ一度ご相談いただければ、と思います。当院でも奇数週（第1、3、5）の火曜日午後に補聴器外来（予約制です）も行っております。

そのほか、最近では花粉症を含めアレルギー性鼻炎の患者さんも年々増えており、低年齢での花粉症発症も増えてきております。通常はのみ薬や点鼻薬での治療を行いますが、近年、舌下免疫療法という選択肢も出てまいりました。舌下免疫療法は現在のところ、花粉症（スギ花粉が原因のアレルギー性鼻炎）とダニが原因のアレルギー性鼻炎のみに限られておりますが、のみ薬や点鼻薬でも症状が十分に改善されない方や舌下免疫療法にご興味がおありの方はご相談ください。

光晴会病院のスタッフの方々には、今後色々とお世話になることと存じます。地域の皆様の健康のためお手伝いできれば幸いです。どうぞよろしく願いいたします。



西彼杵郡長与町高田郷8番35

TEL 095-857-8733

休診日

水曜午後、土曜午後、日曜・祝日

たかの耳鼻咽喉科

診療時間 (受付は20分前まで)	月	火	水	木	金	土
9:00~13:00	○	○	○	○	○	○
14:30~18:00	○	○	/	○	○	/





## はらだ内科医院

「気軽に相談してもらえる町医者」を目指します

この度は、東京オリンピックが開催される記念すべき令和2年の新年に広報誌「あおぞら」の紙面をお借りして当院のご紹介させていただくことになりました。このような機会を与えていただき誠にありがとうございました。

令和元年7月10日、赤迫の電停、バス停近くに開院しました「はらだ内科医院」原田義高と申します。この場所は、元々診療所でその診療所が閉院した4か月後に当院開院となりました。先代の院長先生が長年培われた地元の地域医療の根を絶やさないためにも同場所で開院する決意を致しました。一般内科、呼吸器科、在宅医療を標榜しております。目指すところは、「気軽に相談してもらえる町医者」です。専門診療科だけではなく、患者様目線の診療を心掛けていきます。光晴会病院にて加療された患者様のお役に立てるよう尽力していきたいと思っております。

当方は、長与町立長与小学校卒業です。県外の大学へ行きましたが、大学卒業後は、地元の長崎へ戻ってきて20年ほど長崎県内の診療に従事しておりました。病院勤務だとほとんど外へ出ないので実感することはありませんが、最近往診へ出ると30～40年前と比べ周囲の景色も随分変わってきたことや、幼いころの記憶が時々戻ってくるがあります。

そのように回想しながら、地元の診療に従事していることが、現在の私の診療の原動力になっているようです。

長崎市内の救急病院に勤務している間、退院しても繰り返し入院してこられる患者さんをしばしばみる機会がありました。もちろん、入院する適応はあるのですが、中には入院を希望されていない患者さんも多数おられました。当方が担当していた繰り返し入退院されていたある患者さんが、病状も不安定でしたが、思い切って自宅へ帰ることをすすめ当方も自宅まで同行しました。その時、その患者さんが自宅の玄関をくぐると生気を取り戻したような眼をしたのを覚えています。その後、その患者さんは自宅で亡くなりました。この出来事が契機になり、ここ最近5年間は、在宅診療に従事してその経験を生かして、自院をもつことで地域医療に貢献できればと思っています。とはいえ、自分一人では何もできません。医療スタッフに関わる全職種の方々と連携をもちながら、今後の診療をやっていこうと思っています。また、光晴会病院の病診連携の皆様には日ごろからご支援していただき日々感謝しております。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



### はらだ内科医院

一般内科 呼吸器科 在宅診療

〒852-8156 長崎市赤迫1-2-12

TEL 095-801-3333

休診日 日曜日・祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○ ～13:00まで
14:00～18:00	○	○	/	○	/	/



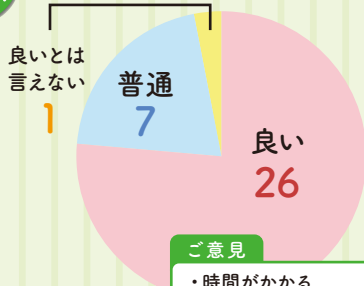


# 第10回 地域連携の会 アンケート結果

令和元年11月7日(木)長崎ロイヤルチェスターホテルにて、『第10回地域連携の会』を開催致しました。  
アンケートの結果を一部抜粋して掲載しております。  
貴重なご意見として今後の参考にさせていただきます。

(医師)勤務先：病院(10) 診療所(20) 未記入(7) 回収率 69%

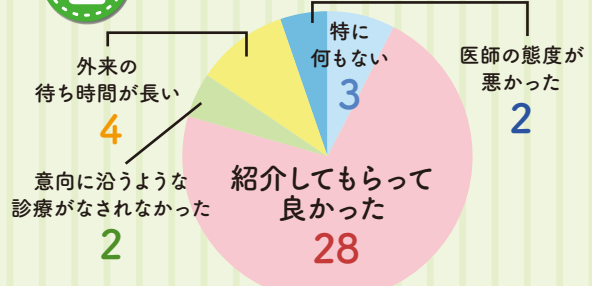
**問1** 問い合わせ、紹介をしていただく際の  
当院の対応について(複数回答可)



【他の項目】  
その他…0

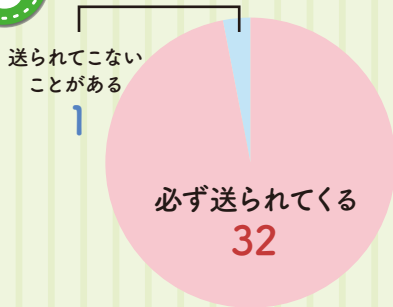
**ご意見**  
・時間がかかる  
・希望日にとりにくい  
・断られる事が度々ある

**問2** 光晴会病院に紹介をされた患者さんからの  
当院への評価について(複数回答可)



【他の項目】  
看護師その他の職員の態度が悪かった…0  
入院設備、病床環境が悪かった…0  
その他…0

**問3** 医師からの連絡状、返事について



【他の項目】  
適切な時期に届いていない…0



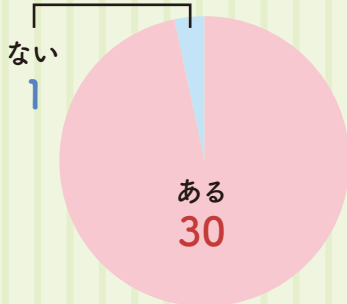
**問4** 連絡状、返事の記載内容について




【他の項目】  
不十分で経過がわかりにくい…0  
必要な資料、データの添付がない…0

**ご意見**  
・添付資料が多すぎる


**問5** 逆紹介について



**講演**



『心臓血管外科手術の現状  
～低侵襲手術の功罪～』  
心臓血管外科 古舘 晃 医師



『開業医の先生方と  
ともに歩む病院として』  
循環器内科 河野 政紀 医師

**問6** 連絡状、返事等について改めて欲しいこと、要望について

- ・CT検査いつもお世話になっています。検査が多いのでしょうか。予約がなかなか取れなくて大変です。かえて当日分のCTは無理して検査してもらって助かっております。
- 内科・外科関係なく、検査前の面談をする医師を確保し、対応致します。

**問7** 日頃当院との連携において感じていることや、意見・感想など

- ・緊急でもいつも診て頂きありがとうございます。今後ともよろしくお願い致します。





# 問 8

今後希望されるプレゼンの内容や、会のあり方についてご意見がありましたらお聞かせください。

- ・月初め（～10日）は、レセプト業務のため、できたら日程調整してもらったら助かります。（病院の御都合もあるかと思うのですが）

→中旬以降の日程が他病院の連携の会と重複してしまい、初旬の開催となってしまいました。来年から配慮致します。



100名を超える方にご参加いただきました。多くのご来場、ありがとうございました！



## 当院は令和元年度救急医療功労者厚生労働大臣表彰を受賞しました！

全国の医療機関の中から当院を含め13医療機関が表彰されました。

今後もスタッフ一同『ONE TEAM』となって貢献していきたいと思えます。



## 花のある暮らし

中尾 美穂

暮らしの中で、花は私にとって四季を感じさせてくれるものであり、リフレッシュ効果により心が癒される時間を与えてくれます。

水をかえる手間が不要なドライフラワーやプリザーブドフラワーは、手軽に生活の中に取り入れることができ、生花にくらべて長い期間、飾っておくことができます。

それらの材料を使って自己流ですが、季節に合わせてリースやしめ縄飾りなどを作っています。

作製した作品をインスタ映えを狙ってスマホで撮影したり、プレゼントして喜んでもらえるのも楽しみの一つになっています♪

最近は、花屋以外に雑貨屋やカフェでもドライフラワーをおしゃれにディスプレイしているお店が増え、新しいお店を発見することも楽しんでます。

店頭には、海外から輸入された珍しい花を見かける機会がありますが、長いカタカナの名前が多くて、花の名前を覚えるのは苦手です(笑)

共通の趣味を持った方との交流が広がることを期待しています。興味ある方は、ぜひお声かけ下さい。

今年は、春から庭でドライフラワーになる花を育てることから始めることが目標です。



# 外来週間診療予定表

2020年1月現在

		月	火	水	木	金	土
内科	3 診	田浦直太 (消化器)	宮副由梨 (消化器)	吉岡正人 (一般内科)	宮副由梨 (消化器)	柴田雄一 (一般内科)	心療内科 (午前) 不定期休み
		福田康弘 (消化器)					
	4 診	宮崎健一 (腎臓・一般内科)	柴田龍二郎 (腎臓・一般内科)	福田康弘 (消化器)	大坪俊夫 (腎臓・膠原病)	柴田龍二郎 (腎臓・一般内科)	
	5 診	河野仁寿 (呼吸器)	森川伸雄 (呼吸器)	河野仁寿 (呼吸器)	森川伸雄 (呼吸器)	河野仁寿 (呼吸器)	
	6 診	和泉元衛 (甲状腺・肥満)	赤星 浩 (消化器)	柴田雄一 (一般内科)	赤星 浩 (消化器)	和泉元衛 (甲状腺・肥満)	和泉元衛 (甲状腺・肥満)
循環器内科	7 診	こうのまさき 河野政紀	石崎正彦		こうのまさき 河野政紀	石崎正彦	
心臓血管外科	8 診	ふるたち 古館 晃	迎 洋輔		古賀秀剛	古賀秀剛	
泌尿器科	9 診	山下修史	あらかきょうへい 荒木杏平	山下修史	大学医	あらかきょうへい 荒木杏平	
外科	10 診	岡田和也	岡田和也	大学医	進 誠也 (おなかのヘルニア (脱腸) 専門外来)	進 誠也 (おなかのヘルニア (脱腸) 専門外来)	
	11 診	岸川博紀	甲 菰子	岸川博紀	岸川博紀	田中史朗	
				田中史朗	やまくち いずみ 山口 泉	吉本 浩 (形成外科)	
【午後】 14:00 ↓ 16:00	3 診				吉岡正人 (一般内科)		
	4 診		大坪俊夫 (CKD 専門)	宮崎健一 (CKD 専門)			
	8 診		第 1.3.5 週 13:00 ~ 15:00 古賀秀剛 (下肢静脈瘤専門) 古館 晃 (大動脈専門)				
糖尿病センター 9:00 ~ 12:00		赤澤昭一 有森春香	赤澤昭一 世羅康徳	赤澤昭一 世羅康徳	赤澤昭一 世羅康徳 フットケアー	赤澤昭一 世羅康徳	

※ 診 療 科 目：内科・外科・泌尿器科・循環器内科・心臓血管外科・消化器科・リウマチ科・リハビリテーション科・呼吸器科・腎臓内科・形成外科・肛門外科・糖尿病内科・麻酔科

※ 診療受付時間：午前 8:30 より 午前 11:30 まで ※ 予約制ですので、できるだけ予約をお願い致します。

光晴会病院 地域医療連携室 TEL 095-857-3563 (直通) FAX 0120-573-632 (直通)

(コミュニケーションマガジン) 編集委員

編集・発行責任者：岡田 和也

編集スタッフ：岩永 (地域医療連携室) 平尾 (クラーク課)

尾上 (医事課) 赤間 (南 4 階)

佐藤 (南 5 階) 吉野 (臨床検査科)

特定医療法人 光晴会病院

〒 852-8053 長崎市葉山 1 丁目 3 番 12 号

TEL 095-857-3533 FAX 095-857-2572

http://www.kouseikai.org/